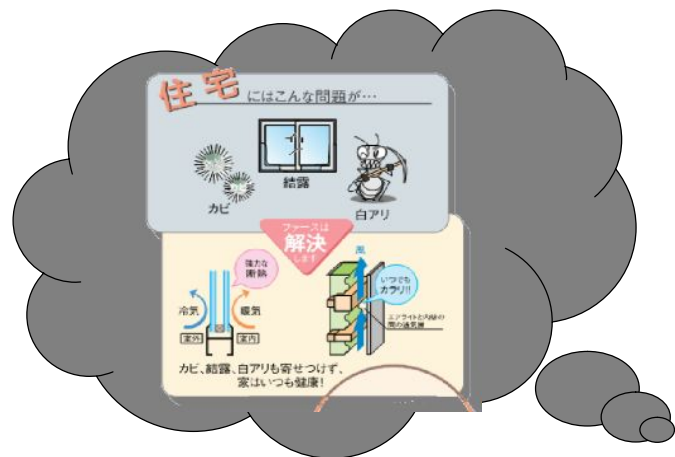


ファースの家にカビが生えない理由



断熱をするとOKと言う訳でもないらしい。

断熱材をたっぷり入れたのに。



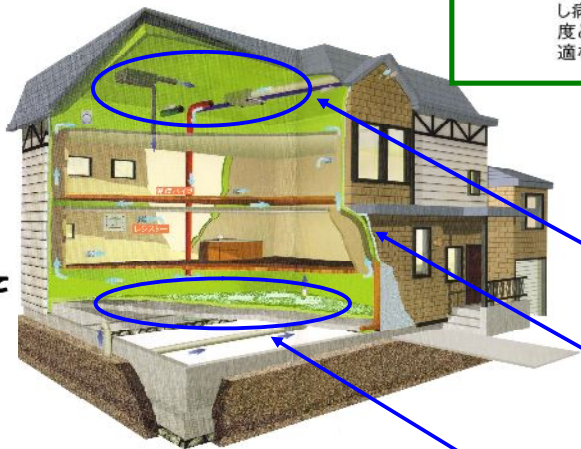
換気扇だけでは、空気を快適に保てません。



高断熱・高气密は今や快適住宅の代名詞。それなら、と分厚い断熱材をたっぷり入れたのに、部屋によって温度がちがったり、窓際や壁の結露に悩まされたり・・・なぜなのでしょう？原因の一つは、断熱材の特性を知らずに間違った施工をしてしまうこと。良く使われる断熱材・グラスウールは、安価で軽くて扱いやすいけれど、湿気に弱いのが難。内壁と外壁との温度差によって結露が生じ、吸水して重くなり、すき間ができて断熱機能が低下してしまうこともあるのです。また、日本の家屋に多い内断熱工法にも課題あり。室内の熱を逃がしてしまうヒートブリッジが起きやすく、ひとくちに「断熱」といっても快適に結びつかない場合が多いのが実情です。

シックハウス問題で24時間換気は義務化となりましたが、換気の方法によっては、せっかく快適に暖めたり、冷やしたりした空気を捨ててしまいます。さらに、換気扇を正しく取り付けて正しく使用しないと、家全体の空気がなかなか綺麗になつてくれないこともしばしば。ジメジメした梅雨が終わるとムシムシする夏、天候が変わりやすい秋が過ぎると寒くて乾燥する冬、それが過ぎると花粉の春、と日本の四季はハッキリしている分、家には通話です。その全てにしっかりと対応した換気を選択することも大切なことです。窓の結露や押入れのカビは、断熱の悪さだけではなく、換気不足が原因かも知れませんよ。

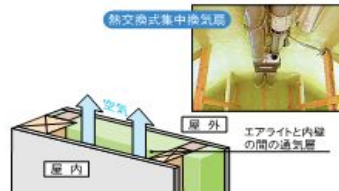
どうやら空気にも品質があるみたい。



快適条件 1

きれいな空気を循環

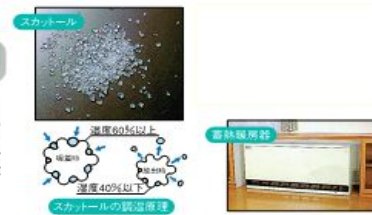
「ファースの家」は、**熱交換式集中換気扇**（24時間自動換気システム）により、外気を天井裏から室温に近づけて取り入れ、外壁内の通気層を上昇しながら家全体を循環します。加えて屋内の空気をキレイに保ちます。



快適条件 2

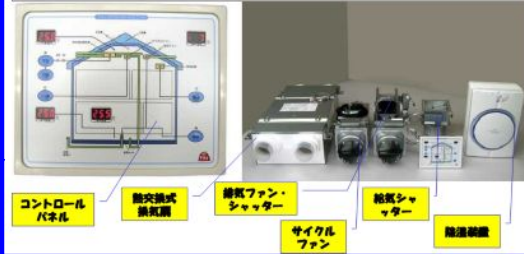
調湿

「ファースの家」は、**蓄熱(冷)材**と**スカットール**により温度・湿度を調整する家です。スカットールは有害物質を吸着し病原菌が発生しにくい40～60%の湿度を維持し、温度と湿度を調整することで結露の発生も抑え、常に快適な状態にコントロールします。



「AIキット」とは?

ファースの家の空気環境を快適化するのが「AIキット」。コントロールパネルにより稼動状況の確認ができ、外気温度、室内温度、天井裏の温度、床下の温度が表示されます。万が一の故障や不具合もこちらのパネルで確認できるので、居間などの目立つところに設置することをお勧めしています。除湿装置は天井裏の湿度が60%前後になると自動稼動し、湿度が下がると自動的にストップします。



「スカットール」とは?

ファースの家の湿度調整能力に多大な貢献をしているのが、ファースの家専用調湿剤スカットールです。スカットールの主成分は二酸化ケイ素(SiO2)、通称「シリカゲル」と言われるもので、一般的にはお菓子や海苔などの乾燥剤として知られています。お菓子や海苔等に使われるシリカゲルは低湿度から湿気を吸着しますが、スカットールは高湿度で湿気を吸放湿できるように改良された専用のシリカゲルなのです。水分を吸着できる素材は世の中に多々ありますが、人が求める快適湿度にあわせて吸放出できる素材はスカットールだけなのです。



【他の調湿剤との比較】

| 種類 | 吸湿度 (RH90%) |
|--------|-------------|
| スカットール | 約7.0% |
| 炭 | 約1.0% |
| ゼオライト | 約1.8% |
| 天然鉱石 | 約5% |
| タケ炭 | 約1.0% |

「スカットール」の吸湿度は炭の「7倍」です。

「エアライト」とは?

ファース専用現場発泡断熱材「エアライト」です。この断熱材は大型冷凍冷蔵庫用の断熱材をファース工法用に改良したもので、現在現場で吹き付けられている断熱材は国内トップレベルの性能を誇ります。最近では吹き付けの断熱材が一時的になり始めていますが、見た目がほぼ同じでもその性能はまったく違うのです。エアライトの発泡体は、一つ一つの気泡が独立しているため、湿気を遮る省エネ効果も高く、平成元年に建てられたファースの家のエネルギーコストは現在も同様に保たれています。

木にしっかりと接着し、地震に耐え、木材の収縮に追随し、燃え難く、高い断熱性能を持つエアライトは、ファースの家の心臓部です。この大切な心臓部の施工は、ファースグループによる全国責任施工で行われるので、施工ムラがほとんどありません。

